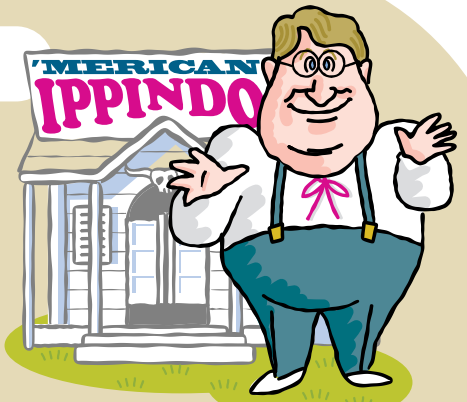


注目のアプライアンスが続々入荷!

アメリカン逸品堂



渡辺史敏

Photo: Kyoko Watanabe

アメリカでは、いまネットワークを活用したおもしろ製品がどんどん誕生している。

そのなかには感動的な驚きの名品もあれば、「なんだこりゃ?」な迷品もある。

ここアメリカン逸品堂では、毎月入荷する品々の中から店主厳選の逸品をご紹介します!

フリップを開ければ自動でパームが起動

パームOSを搭載した初の携帯電話として3月半ばに発売され、アメリカでいま人気なのがこのKyocera製QCP6035だ。

本体のサイズは縦14.2cm×横6.4cm×厚さ2.2cm、重量208gで、Palm IIIcやVisor Prismよりも10gほど重く、2mmほど厚い。液晶が普通のパーム機よりも狭いぶん、幅は逆に約1cmほどスリムになっている。電話として使うことを考えると少々デカイ気もするが、アメリカの重い携帯電話に慣れた身にはあまり気にならない範囲だ。

これがエライのはフリップを閉じた状態で

は、基本的に携帯電話として機能するが、フリップを開けるとパームの機能が自動的に起動するようになっている点だ。電話と一体ながら普通のパーム機としての機能がほとんど削られていないところがいい。パームOSは3.5.1が使用され、当然HotSyncなどの機能にも対応している。また、携帯電話としてはデジタルのCDMAだけでなくアナログにも対応しており、パイプレーション機能やスピーカーフォンなどアメリカの携帯電話における「上級機能」も標準で搭載している。

しかし、QCP6035の魅力はなんといっても電話とパームの各機能がシームレスに利用できる点だ。フリップを閉じたままパームのアドレス帳に登録したデータをシャトルボタンで

呼び出し、そのまま電話をかけることもできるし、通話記録をパームで管理することもできる。EudoraやEudoraWebが標準で添付されているので、携帯電話会社の接続サービスを使ってインターネットに接続すれば、インターネットメールやウェブを利用できるほか、パーム向けAOLサービスも利用できる。なお、気になる通信速度は最大13kbpsだ。

ちょっと重いのと、端末の機能とサービスのすり合わせがまだこなれてないなどの不満もあるが、パームと携帯電話が1つに融合したメリットはそれらを十分にカバーしている。約500ドルという価格が別々にパームと携帯電話を買うのよりもおおむね高いのが悩みどころではあるが……。

パーム一体型の携帯電話が登場!

QCP 6035

DATA

メーカー: Kyocera

価格: 499ドル95セント

Jump www.kyocera-wireless.com/

kysmart/kysmart_series.htm



ウェブアクセスではWAP、SMS(ショートメッセージ)のみならず、SSLを含むHTMLにも対応しているのが通常の携帯電話と違うところ。アメリカのPalm VIIのワイヤレス接続サービスも同等だが電話機能はない。



少し重い機能がほとんど削ることなく、このサイズにまとめたことは評価できる。フリップを開けると見慣れたパームの画面が表示される。アイコンのいくつかがこの機種ならではのものになっている。

ダイヤルで選局して
世界中のラジオが聴ける

インターネットラジオ専用アプライアンス

iM Remoto Tuner

ブロードバンドで先行するアメリカでは意外にも映像ではなく音声によるストリーミング放送が活発だ。既存のラジオ局が番組をインターネットにも同時に流すことが多いためか、「インターネットラジオ局」の数はリアルなラジオ局を上回っているほどだ。そんなインターネットラジオを気軽に楽しむための専用アプライアンスは「Kerbango」をはじめいくつも登場しているが、これもそうしたものの1つ。

ハード的にはリモートチューナー（写真上）トランスミッター（左下）レシーバー（右下）の3ユニットで構成される。ラジオそっくりの形状をしたリモートチューナーは実はワイ



ジョグダイヤルで選局する。左のボタンは上からプリセット、おもしろい/つまらないの投票用、電源だ。電源を入れると自動的に専用ソフトも起動する。



制御ソフトのiM Tuner Software。画面上では局名表示など、詳細なデータの表示やコントロールができる。

ヤレスリモコンだ。これで選局すると、パソコンにUSBと音声出力で接続されたトランスミッターを介してパソコン上の専用ソフト「iM Tuner Software」が自動的に起動し、インターネットラジオ番組を呼び出す。トランスミッターは番組の音声データをレシーバーに飛ばし、レシーバーに接続された家庭用ステレオから音声が届く……という仕組みだ。動作環境としてはウィンドウズ98/NT4.0以降で56K以上の通信速度が必要だ。

リモコンには26ジャンルに各32局を任意に割り当てられるので、一度セットすれば以後ユーザーはURLを気にすることなく、ダイヤルで選局できる。また、リモコンにはインターネットらしく放送中の曲

のタイトルやアーティスト名などをボタン1つでメールしてもらえたり、おもしろい/つまらないといった投票をメールで送る機能もある。ストリーミング以外にもMP3やウィンドウズメディアの再生や送信に対応している。

実際にリモコンを操作すると少しタイムラグがあったのち、クリアな放送が聞こえてきた。そんなにたくさんラジオを聴くかどうかは別にして、通常は聴けない遠い地域のラジオ番組でもパソコンを意識せずに気軽に楽しめるのがこの製品の一番の魅力だろう。



DATA

メーカー：iM Networks（販売元はAcer、iRhythm）

価格：99ドル95セント

www.sonicbox.com



ひと足早くハヤリモノをcheck!

今月の早目・早耳

「パーツを組み合わせて怪獣や車、ロボットなどさまざまな物を作る。しかも各種センサーによってさまざまな動きが楽しめるうえ、ウェブから各種の制御データもダウンロードできる...」Cyber K'NEXのそんな商品説明を見て、レゴのマインドストームに強力なライバル登場か?と色めきだした。しかし、形態だけでなくさまざまなプログラミングによって「ロボットを作る楽しみ」を子供だけでなく大人にも教えてくれる教育的な効果も高いマインドストームに対してこちらはあくまで「おもちゃ」であることが基本になっている。その証拠に「Ultra Set」,「Cybots」,「Hyper Wheels」と3つ発売されている同シリーズのうち、プログラミングやイ

ンターネットに対応しているのは一番高価な「Ultra Set」だけだ。つまり、ネットやプログラムへの対応は教育的コンセプトに基づくものではなく、おもちゃで「より楽しく」遊ぶためのオプション的な扱いなのだ。「一番いいのを買ってもらえる子だけが一番楽しめるなんて教育的によくない。こんなところにもデジタルデバインドか!」と思う反面、「自分で買うならやっぱり一番いいやつだよな」と思ってしまう私は悪い大人である。実際、このCyber K'NEX、ちょっとハズした感がけっこう気になっている。

おもちゃに徹した“マインドストームもどき”

Cyber K'NEX

www.cyberknex.com/cyberknex.html



Ultra Setの標準価格は129ドル99セント。やっぱりちょっと高いか?



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp